



国民の森林・国有林

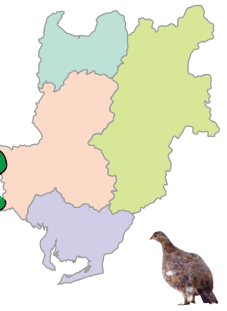
林野庁  
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5  
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

# 中部の森林



メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。  
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



9月の見どころ聴きどころ①—初秋の上高地右岸歩道から河童橋と明神岳（杉村さんからの投稿）

主な項目	○本局のトピックス（保育・幼児教育ほか）	P 1
	○各地からのたより（グーグルストリートビューで国有林を紹介ほか）	P 3
	○シリーズ「ご当地自慢」	P 9
	森林でのお仕事紹介コーナー	
	☆「森林官からの便り」	P10
	☆「森林・林業界からの便り」	P11
	☆「林業土木業界からの便り」	P12
○10月の見どころ聴きどころ	P13	

# 森と自然を活用した 保育・幼児教育自治体勉強会

## in 中部を開催

### 「技術普及課」

七月十三日に、岐阜県立森林文化アカデミーにおいて、公益社団法人国土緑化推進機構が、中部森林管理局、岐阜県、鳥取県、長野県、広島県、三重県との共催で、保育・幼児教育の質の向上、森林環境教育・持続可能な開発のための森林教育の促進、地方創生・移住促進に向けて勉強会を開催しました。

当局からは、木曾森林ふれあい推進センターの職員が参加するとともに、川戸森林整備部長が、地域の自治体や学校などに自然観察の場として国有林を使っていただいていることや、育林体験や森林教室などのイベントの実施に関するご相談を常時受け付けていることを紹介しました。

勉強会では、初めに岐阜聖徳学園大学の木下専任講師から、森と自然を活用した保育・幼児教育の意義と可能性についてお話があ



会場の様子

り、次に国土緑化推進機構の木俣政策企画課長、林野庁の木下山村振興・緑化推進室長から、幼児教育の最新情報や森林環境教育の推進状況の概要報告がありました。

その後、長野県、岐阜県、岐阜県立森林文化アカデミー、愛知県、美濃加茂市等の福祉部署及び林務部署から支援施策やその成果の紹介、伊那市等の森のようちえんから地方創生や移住促進への貢献事例の紹介が行われました。

最後に、学校や幼稚園・保育園の関係者を中心とした約百五十名

の参加者からの質問に発表者が答えるディスカッションが行われ、予算の確保や取組の開始に伴う苦労話等も含めて活発に質疑応答が展開されました。

## 木曾川下流域住民を対象に 木曾の国有林見学会を開催

### 「ふれあい推進センター・名古屋事務所・木曾森林管理署」

七月二十六日、木曾署管内の赤沢自然休養林で、木曾川下流域の住民を対象に「木曾の国有林見学会2018夏季」を開催しまし



林内を散策する参加者



木曾五木の説明に聞き入る参加者

た。

この催しは、江戸時代から深い繋がりを持つ木曾地域と木曾川下流域との関係や、森林・林業について理解を深めてもらうことを目的に、木曾川下流域住民の方々に、木曾川源流域の国有林を訪ねてもらい、木曾地域の林業の歩み、名古屋市の白鳥貯木場にたどり着くまでの運材技術の変遷や木材の出材地を実際に見聞きし、「四百年の歴史」を体感してもらうのです。

当日は天候に恵まれ、名古屋市内を中心に参加された二十八名と

スタッフ一名の総勢二十九名が名古屋事務所「**熱田白鳥の歴史館**」を出発。一路木曽路に向かいました。

なお、昨年度までは春・秋の年二回の開催でしたが、本年度から夏季の開催を追加したところ、小学生二名の参加がありました。

赤沢自然休養林到着後は、ふれあい推進センター職員三名により現地案内を実施しました。

参加者の皆さんには、名古屋事務所で事前学習をしてもらい、名古屋市内熱田区に貯木場があったこと、木曽地域との関係や、赤沢自然休養林の概要などを、写真や映像を使い、理解を深めていただいたうえで参加してもらいました。

バスの中で、森林鉄道や木曽ヒノキに関する映像を見ながら、赤沢自然休養林までの景勝地などの説明を受け、想いを膨らませながら木曽ヒノキの生地へと向かいました。

到着後、真夏の太陽の日差しが降り注ぐなか、木陰や川沿いの涼しい場所で昼食をとり、森林鉄道で木曽ヒノキの森林と溪流が織り

なす景色を眺めながら終点の「丸山渡停車場」に移動し、職員のガイドにより、歴史とともに育まれてきた木曽ヒノキやサワラが生い茂る林内を散策し、木曽の林業の歴史や運材方法、伊勢神宮との関わり、木曽五木の見分け方や特徴などを学びました。

参加した方々からは「名古屋市では猛暑が続く中、こんなに涼しい場所で説明を受けながら、ゆっくり散策ができて大変よかった」「楽しかった」、参加した小学生からも「森林鉄道に乗れてよかった」などの感想が聞かれました。

今後も実施にあたり参加者の意見・視線をとらえ、より意義のある催しとなるよう努めてまいります。



「技術支援センター・岐阜森林管理署」

六月二十九日及び八月二十日の二日間、岐阜県森林文化アカデミーの学生を国有林へ案内し、国有林の施業等について説明しまし

た。

森林文化アカデミーでは、伐期を迎える林分において生育状況や搬出条件等から今後の森林施業を方向付ける能力を培うため現地実習を重要視しており、今回、岐阜県下呂市の小川長洞国有林と乗政おがわながほら国有林において実習を行うこととしたものです。

小川長洞国有林は、間伐率の異なるプロットにおいて下層植生の推移、植栽木の生育状況等の観察を目的に設定された「ヒノキ間伐展示林」で、昭和四十三年に植栽

した五十二年生のヒノキ人工林です。

この林分は、平成十二年度と平成二十年度に間伐を実施していますが、樹冠長率（樹高に対する樹冠長の割合）が低く、樹木の優劣が明確となっています。

学生からの意見は、樹冠長率が低く肥大成長は望めないことから伐期に「皆伐」とするということ意見と、皆伐後の造林経費確保が難しいことから「間伐を繰り返す」という意見が出されました。

乗政国有林は、長伐期施業を行っている林齢八十五年生と百五十年生のヒノキ人工林で、平成二十八年度に製品生産事業を行った林分です。この林分は、下流にわさび田や養魚施設があり、搬出路のルートに配慮する必要があります。

学生からは、「搬出条件がよいことから皆伐は行わず、需要に応じて抜き伐りしては」という意見がありました。

これからも林業専門学校等からの要請に応じ、国有林の案内やPRに努めてまいります。



乗政国有林で意見交換

# 各地からのたより

ぜひご覧いただきたい！

## 国有林の優れた自然景観を

### 「木曽森林管理署」

木曽森林管理署では、グーグルがインターネット上で世界中の道路沿いの風景を画像で提供するサービス「グーグルストリートビュー」を活用し、管内の国有林を公開しました。

今回のストリートビュー公開に向けて、今年三月からグーグルの「ストリートビュー・トレッカー」に参加し、撮影コースの設定や撮影時期、また撮影方法や機材のトレーニング等を行い、新緑の時期に撮影ができるよう調整を進めてきま



木曽御嶽自然休養林での撮影風景



「トレッカー」重かった～ト

した。

撮影は当署職員が六月の上旬から二週間かけて、上松町赤沢自然休養林のヒノキ林、様々な歴史が刻まれた木曽町城山史跡の森、広葉樹と針葉樹が豊かな森林を創り出す木相村水木沢天然林、また、雄大な御嶽山を一望できる王滝村木曽御嶽自然休養林の撮影を行いました。

十五個のカメラで全方向の撮影ができる「トレッカー」と呼ばれる専用のカメラは重さ約二〇キロもあり、体力のある若手職員が主体となって「トレッカー」を背負い、各コースを歩き撮影を行いました。

ストリートビューが公開されたことで、国有林内の優れた自然景観や魅力を世界中に発信でき、国内外の観光客が足を運ぶきっかけ

になればと考えています。

また、撮影箇所は貴重な森林も含まれており、現在の森林の姿を半永久的に画像として残せることで資料としての価値もあることや、当地域の優れた自然を自宅やスマートフォンで見ることができ、現地に足を運ぶことが困難な方が当地域の自然を体験することができま

す。 沢山の方々に今回公開したストリートビューを見ていただき木曽森林管理署国有林のPRや、地域の振興にも繋がるよう期待するところです。



公開されているストリートビュー

ぜひ皆様も公開されたストリートビューをご覧ください。

### 労働災害の撲滅のために

### 安全パトロールを実施

「伊那谷総合治山事業所」



安全パトロールの様子

七月十一日、二十四日、二十五日の三日間、小渋川地区、上伊那地区、飯田地区のそれぞれの発注工事全現場において、各地区安全協議会と共催で今年度の第一回安全パトロールを実施しました。パトロールは、三地区の安全協議会員二十一社延べ三十二名、当所職員延べ十四名、飯田労働基準監督署担当官一名が参加し、十九件の工事現場においてチェックリストによる点検を行いました。

この安全パトロールは、各地区の安全協議会と当所が合同で開催しており、毎年、当年度の工事発注が終わった段階で、各工事の着工時に第一回目、工事中期に第二

回目、工事完成前に第三回目を実施することとしています。

各地区の安全協議会は、労働災害の撲滅を期するために、会員相互の安全意識の高揚を図り、親睦、連絡調整、安全管理技術の向上に努める目的で組織されており、当所の職員も活動のアドバイザーとしてサポートしています。

安全パトロールでは、現場内を目視してわかる不安全要素のチェックはもとより、各種安全点検記録、安全活動記録、各種届出記録の確認など細部にわたり厳重なチェックを行い、確認された指摘事項については、軽微なもの



推奨された、資材等の整理整頓状況

その場では正指示を行い、直ちに是正できない事項は、作業の中止も含め早急に対策を検討することとしており、是正後には必ず改善対策を含めた報告を行うこととしています。

また、推奨事項については協議会全体で情報を共有化し、会員相互の安全対策の強化に役立てることとしており、推奨事項を発見したときは、その場で責任者や作業者を褒めることにも取り組んでおり、安全衛生活動へのインセンティブに繋げるよう心がけています。

当日の反省会では、各点検者から足場工の不備、転倒転落防止措置の不備、許可票等掲示物の不備などの是正事項の指摘はありましたが、作業を中止するような対策が必要な指導事項は見受けられませんでした。また、掲示物の工夫、作業歩道の転落防止措置、熱中症対策などの推奨事項が多く報告され、会員相互で良い事例は手本とすることを確認しました。

当所では、今後も安全パトロール等の活動を通じて、受注者と発

注者が一体となって、相互が実効性のある安全活動を展開し、今年度工事の無事故無災害を目指していきたいと考えています。

### 東侯国有林で

### クリーン活動を実施

#### 〔南信森林管理署〕

酷暑の七月二十五日、下諏訪町の東侯国有林内の国道一四二号線、和田峠旧道沿線で、国有林クリーン活動を実施しました。

当日は、当署職員に加え、長野国有林森林整備協会南信支部及び長野林業土木協会天竜支部のご協



林内のゴミを拾い集める参加者



集めたゴミの分別作業

力により、総勢六十六名で作業を行いました。

ここ数年、同一箇所でのクリーン活動を実施しており、年々ゴミは減少傾向にありますが、今回は大勢の方に参加いただいたことから、範囲を拡大して実施したところ、約一時間の間に軽トラック三台分（不燃ゴミ二五〇キ、可燃ゴミ二一〇キ）のゴミが収集されました。

ゴミは、ペットボトルや空き缶、弁当の空き箱等のほか、ブラ

ウン管テレビ、タイヤ、温水洗浄便座等、悪質な投棄も見られ、参加した者は、一部の心無い者の行為に憤りを感じながらも、綺麗になった林内を見て、大いなる達成感を得ました。

集めたゴミは、下諏訪町の全面的なご協力により、不燃ゴミは下諏訪町清掃センターで、可燃ゴミは諏訪湖周クリーンセンターで受け入れていただきました。

和田峠は、八島湿原やビーナスラインへの玄関口であり、訪れる観光客に美しい信州を実感していただくため、引き続き、地域のご協力をいただきながらクリーン活動を継続して実施していきたいと考えています。

〔富山県との協働事業〕

「とやまの山岳環境整備ボランティア」を実施

〔富山森林管理署〕

八月四日に立山のブナ坂国有林において、「とやまの山岳環境整備ボランティア」活動が実施されました。

この活動は、八月十一日が山の日に制定されたことを記念し、平

成二十八年から富山県が主体となつて行われており、森林管理署、環境省などの国の機関や富山県警山岳警備隊、富山県ナチュラリスト協会の協力のもと、公募で集まった県内のボランティアの皆さんと一緒に環境保全に係る作業を行うもので、今年で三回目の実施となります。

当日は、雲ひとつない晴天に恵まれ、家族連れや自然科学部で活動する中学生など県内各地から約五十名の参加があり、当署からもボランティアの指導のため七名の職員が参加しました。

作業は、午前中には遊歩道（木



特殊な板の打ち付け作業中



細心の注意を払って外来植物を除去

道）に滑り止めの設置を行い、午後からは外来植物の除去を行いました。

滑り止めの設置は、天狗平に設置してある木道が、近年降雨や濃霧時に滑りやすくなり、捻挫などの怪我をする利用者が増えていることから、安全対策として砂などを混ぜて固めた特殊な板を木道へ打ち付けるものです。

作業は、木道が一人通る程度の広さしかないので、板を並べる人とクギを打つ人に役割を分担して黙々と行われました。

また、外来植物の除去は、弥陀ヶ原湿原においてオオバコやシロツメクサなどの本来この地域一

帯に自生しない植物が増殖しないように行うもので、在来の高山植物を踏みついたり、外来種の種子を落とさないよう細心の注意を払いながらの作業となりました。

木道整備と外来種除去の作業中は、観光で訪れた方々から活動内容は「暑い中、お疲れ様です」、「滑り止めの設置は助かります」とい



今回参加した皆さん

うねぎらいの声をかけてくれる方もいました。炎天下の大変な作業条件ではあったものの、参加者もその言葉を励みに作業を行い、無事一日の作業を終了することができました。

作業終了後のボランティアの皆さんの顔からは、地元の自然環境を守る活動に携わることができたという充実感がうかがえ、同行していた私達職員もこの活動の大切さを再認識するとともに、今後も県民の方と国や県などの関係団体が協働で、継続して取り組んでいく必要があると感じました。

### 治山林道研究発表会で 優秀発表者賞を受賞

#### 〔中信森林管理署〕

八月二十四日、神奈川県横浜市において、第五十四回関東・中部地区治山林道研究発表会が開催、国・県・大学から十四課題が発表されました。この中で、姫川治山事業所が発表した「自然環境に配慮したコンテナ苗による治山緑化工」が優秀発表者賞を受賞しました。

当署においては、治山事業による山地災害の早期復旧に努めていますが、国立公園内等で外部からの種子等の持ち込みが制限されている場所では遺伝子的攪乱防止の観点から施工地周辺の飛来種子を捕捉し植生侵入を促進する「植生誘導工」を施工しています。これは現地由来の在来植生が形



植栽前の試験地



試験地の現況



受賞風景（前列左側が受賞者）

成されやすい反面、植栽工や種子吹付工等の一般工法と比べて植生による地表被覆に時間を要するため土砂流出防止機能等の緑化工効果の発現が遅れる傾向にあります。

このような場所において現地木本から挿し穂等を採用、育苗したコンテナ苗を用いた植栽工を実施することで遺伝子的攪乱に配慮するとともに早期の緑化を図ることを目標として取り組みました。

試験はコンテナの型式、培養土、改良材、肥料などの基材配合数量等の検討に始まり、挿し穂等の採取、育苗、植栽工までを実施

し、植栽から現時点までの生長量の調査、植栽工実施箇所と自然復旧を図った箇所での緑化状況の比較を実施しました。

結果は、治山事業地では生長は遅いものの活着しており、最も生長の良かったのが林道法面への試験箇所となっています。

今後も調査を継続し、治山技術向上とみどり豊かな自然への復旧を目指し取り組んでいきます。

### 湯の丸高原の森を見に行こう！ 東御市民を対象に見学会開催

#### 〔東信森林管理署〕

八月二十六日、長野県東御市にある湯の丸・高峰自然休養林において、地元市民を対象とした国有林野事業現地見学会を東御市、東御市教育委員会、一般社団法人信州とうみ観光協会と東信森林管理署の共催で開催し、市民十一名が参加しました。

午前中の事業見学会では、当署職員の案内により実際の間伐事業地を見ながら、森林・林業の現状や間伐の必要性について説明し、高性能林業機械の見学等を行いました。



間伐事業地を見学

した。参加者からはカラマツは枯れの心配は無いのか、自分の山の手入れ不足が心配なので相談にのってほしい、といった質問等がありました。

その後、湯の丸高原・高地トレーニング施設の見学を、東御市役所職員の案内により行いました。実際にトレーニング用具を使って身体を動かしたり、四〇〇リットラックに入って、施設のすばらしさを体感しました。

午後は、池の平湿原で、湯の丸



ひょっこり現れたニホンカモシカ

高原ネイチャーマイスターの案内で散策を行いました。下界は三十五度近くまで気温が上がったようですが、標高二、〇〇〇メートルの池の平湿原は日陰に入れば涼しく、トレッキングには快適でした。コマクサなど高山植物が咲き乱れる時期でなかったのは残念でしたが、ニホンカモシカにも会え、参加者に喜ばれていました。

地域住民の皆さんの「国有林って何をしているところなの?」、そんな疑問に少しでも答えられたのではないかと感じました。

今後も、開催場所、内容などを検討し、毎年行っていきたいと考えています。

### 国有林治山事業地見学及び 森林セラピーを体験

#### 「富山森林管理署」

八月八日、早月国有林（中新川郡上市町）において、一般に公募し、参加を希望した町民十二名の方々に治山事業地を見学していただきました。

上市町は、劔岳を主峰とし奥大日岳等の急峻な山々に囲まれており、各河川の上流は土砂生産が活発です。特に、昭和三十年以降は山地災害が頻発した経緯もあり、上市町からは今日においても治山事業促進に関する要望書が毎年提出されています。今回の見学会は、山間部で実施している治山事業について、より多くの町民に知っていただきたいとの町からの要請もあり開催されたものです。

当日、参加者は役場からマイクロバスで約一時間移動し、治山事業施工地に到着後、パネルを用いて森林官から森林の働きについて、また、治山担当者から事業計画や現在施工している溪間工についての説明を行いました。



治山事業についての説明

砂防事業と違い治山事業は森林に戻していくことが最終的な目的であること、満砂している谷止工は一見して土砂を止め切れていないように見えても、勾配が緩やかになることで洪水時に土石の動きを抑えることができることも説明しました。

参加者はみな真剣な面持ちで説明を聞き、「森林に復旧するまでにかかる時間はどれくらいか」、「この大きな石は流れてきたもの





現地を見学している参加者

か」「この奥にも事業計画はあるのか」などの質問があり、「上市町の暮らしが治山事業により守られていると知る良い機会となった」「こんな奥地で事業をしているとは思わなかった」「より多くの人に見てもらいたい」などと普段訪れることのない山間奥地の事業について感想が寄せられました。

参加者は、見学会の後には剣岳登山道入り口付近にある馬場島荘周辺にて、セラピスト二名による森林セラピー体験として、五感を使った森林浴を楽しみました。



協定を締結した三者

十月には第二回目の見学会も予定しています。今後もこうした機会を捉え、町民の方々に治山事業について知っていただき、より一層の理解が得られるように努めていきます。

### 「国有林野内におけるニホンジカ等の捕獲に関する協定」を締結！

#### 「愛知森林管理事務所」

八月二十九日、愛知森林管理事務所において、愛知県特定鳥獣保護管理計画に基づく個体数調整等のニホンジカ等の捕獲を支援するため、設楽町猟友会と「国有林野

内におけるニホンジカ等の捕獲に関する協定」締結式を行いました。

この協定はニホンジカの生息数の増加が著しく、農林業被害も増えていることから、設楽町に所在する国有林野内において、効果的かつ効率的なニホンジカ捕獲を進めるため締結したものです。

本協定は、愛知森林管理事務所長を甲、設楽町猟友会会長を乙、地域一体での取組という中で新城北設楽広域鳥獣害対策協議会委員長を立会人とした、三者による協定締結となりました。

本協定により、愛知森林管理事務所は設楽町猟友会に対して、

- ① 林道ゲートの鍵の暗証番号を伝達し、車輛での入林を認める。
- ② 希望により、捕獲用具のくくりワナ等の貸出しを行う。
- ③ 自動カメラ等で得られたニホンジカ等の生息情報を提供する。ことなどが可能となります。

三者による協定書調印と記念撮影を行い、愛知森林管理事務所長、設楽町猟友会会長、新城北設楽広域鳥獣害対策協議会委員長が

ら本協定締結にあたっての期待や今後の展望など挨拶がありました。

各代表挨拶のあと、くくりワナなどの貸与品の貸出しセレモニーも行われました。

一連の議事進行後、新聞記者からの質問等を受けた後、締結式を終了しました。

記者からは「今回の駆除対象の国有林面積は？」「当該地域のニホンジカ生息数は？」「狩猟手法は？」「これまで国有林の狩猟捕獲はどういった形で行われていたのか？」「目標捕獲頭数は？」など多くの質問があり、協定者からは「本協定をはじめとして、地域の課題である獣害対策に地域全体で取組んでいきたい」などとのコメントが出されました。

当所では、本協定締結により、今後さらに地域と一体となったニホンジカ等の捕獲を推進し森林被害の低減を図るとともに、民有林、国有林のみならず、地域一体となった各種対策が図られるよう取組みを進めていくことといたします。



北信署管内の北部、長野県と新潟県境に位置する日本百名山の一つ「苗場山」を紹介いたします。

苗場山は標高二、一四五<sup>メートル</sup>、成層火山のどつしりと構えた山容を呈し、山頂付近は溶岩台地で、オシラビソの天然林に囲まれた広大な高層湿原が形成されています。



佐武流山から苗場山を望む

このよな平坦な山は、日本では珍しく、上信越高原国立公園に指定されるとともに、長野県では生物群集保護林に指定し、

原則として人手を加えずに自然の推移に委ねた保護管理を行っています。

山頂南西側から標高一、八〇〇<sup>メートル</sup>に広がる四平方<sup>キロメートル</sup>にも及ぶ高層湿原には、およそ三千箇所もの池塘が点在しており、これらは、近年の堆積物調査で約七千年前から形成が始まったと考えられています。

無数の池塘には、ミヤマホタルイヤヤチスゲが自生し、まるで苗代のように見えることから「神の苗代田」とも呼ばれ、山頂には伊米神社が祀られています。

苗場山の登山は、毎年六月一日に栄村小赤沢の苗場山神社で行われる「秋山郷・苗場山・鳥甲山・佐武流山山開き」でシーズンが始まります。ここで、長野県側のメインルートである小赤沢からのルートを紹介いたします。

三合目駐車場から山頂までは三時間半程度かかります。

一合目毎に道標があり、標高と所要時間を確認しながら登ります。三合目と四合目には水場があり、周辺のイワカガミやサンカヨ

ウ、マイヅルソウなどが楽しめます。

五合目と六合目の間には風穴があり、シヤクナゲやゴゼンタチバナ、ヨツバシオガマなどの花々を見ながら進みます。

六合目から八合目の間には岩場があり、鎖が整備されています。

八合目を少し登ると視界が広がり湿原となり、木道が整備されています。

池塘やワタスゲ、チングルマ、ニッコウキスゲなどの花々、遠くには鳥甲山などを眺めながら進むと九合目、オオシラビソの樹林帯を抜けると、広大な高層湿原が現れ、山頂方向には「苗場山頂ヒュッテ」(宿泊可)の屋根が見えてきます。



自生するニッコウキスゲ

高層湿原の先には佐武流山や岩菅山などが望めます。いよいよ山頂です。



湿原から鳥甲山遠望



山頂からの眺望はすばらしく、鳥甲山、妙高山、岩菅山、佐武流山、北アルプス、南アルプスなどの山々が続きます。これから秋にかけては、高層湿原の草紅葉と池塘が織りなす苗場山でしか見ることのできない絶景が楽しめます。



大笹峰方面から蓼科山方面への大展望  
(中央ピークは蓼科山)



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

【東信森林管理署 大門森林事務所】

首席森林官 荻原育夫

大門森林事務所は、長野県小県郡長和町に所在し、東は蓼科山系の山脈を境として立科町に、南は霧ヶ峰山塊を境に茅野市、諏訪市、下諏訪町に、西は美ヶ原高原で松本市、上田市とそれぞれ接し、八ヶ岳中信高原国定公園に指

定された箇所を含む、標高九五五〇～一、九九〇メートル、八、二、三、九の国有林野を管轄します。管内国有林の約六割が人工林で、大部分がカラマツ林となっています。国産材への期待が高まるなか、平成三十年度計画では約一万七千立方メートルの木材を生産する予定になっています。そのなかで国有林野事業の円滑な事業実施の課題である、生産性向上に向けた目標達成に林業事業者と連携して取り組んでいます。また、分収造林契約期間満了に伴う皆伐箇所を含む約一四七の更新、保育等の育成事業を実施しています。なかでも皆伐跡地における野鼠、ニホンジカ被害対策に力を入れて取り組んでいます。解決に至る決定打に欠けた現状となっていますが、病虫獣害対策の技術



皆伐跡地保育（下刈）箇所、ニホンジカ防護柵を実行

確立に向け、県、関係機関等と協力し実験・研究をしていきたいと考えています。

管内には、「美ヶ原高原」「ビーンズライン」「中山道」「ブランシュタかやまスキー場」「エコーパレースキー場」など多くの観光資源、別荘地、歴史遺産があります。

その一つに「黒曜石体験ミュージアム」があります。管内には古代縄文人が良質の黒曜石を採取した跡があり、長和町を含む長野県八市町村と山梨県六市による、日本最古の黒曜石鉱山を取り上げた「星降る中部高地の縄文世界」が今年日本遺産に認定されました。特に「星糞峠」とかなりインパクトのあるネーミングの場所にある黒曜石鉱山では、縄文人が黒曜石を掘り出した痕跡を目にすることが出来ます。

また、美ヶ原高原は標高約二、〇〇〇の雄大な草原として人気があります。他にもハイカーに人気の中山道と宿場などもあり、長和町では「エコハイイク」歩く博物館『インながわ』としてモデル



美ヶ原高原美しの塔  
(左側地域技術官、右側筆者)

コースを設定しています。

当所の職員は、森林官、地域技術官の二名で、多様な諸問題が多いなか協力しあつて取り組んでいます。お互い心配ごとは抱え込まないよう、日頃から意思疎通を欠かさず、楽しい職場で仕事に励みたいと思っています。

■未来の担い手へのメッセージ

四十年間、都会から山間地域まで各地を転勤して現在に至る。このことが仕事や私生活でも財産となっています。自然相手のこの職場、携わる人も多様であり、また、地域ごとに人柄、考え方が違うところが面白い。樹木も地域ごとの違いがあり面白い。いろんな経験は、緑・山づくりに活かせるはずです。きっと楽しく仕事ができるこの職場、期待を裏切らないと思います。

# もり 〈森林でのお仕事紹介コーナー（森林・林業）〉

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などの森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張る若者や女性技術者などを紹介していきます。



栄村森林組合

うえの  
上野 由希菜  
(二〇一七年入社)



伐採前にハイチーズ(上野さん)

## ■事業の概要

請負事業…二ツ橋国有林立木販売

売・造林一貫事業

発注者…北信森林管理署

通常の立木販売と造林請負がセットになった二カ年にわたる事業です。今年度初めて当組合が受注しました。

今年度は立木販売の素材生産を

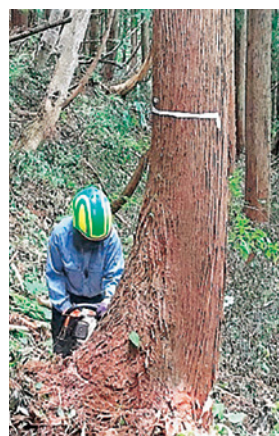
行い、来年度秋に、植栽する計画です。立木販売と造林事業がセットになることにより造林(地拵)事業のコストが削減され、効率的な事業が期待されます。

## ■現場での役割・魅力

現在、森林作業道開設の先行伐採を行っています。豪雪地域のため、根曲りがほとんどです。伐倒時、受け口を上手につくることができず、伐倒方向が少しずつれてしまふことがあります。一緒に作業している先輩から「こうやって伐るといいよ」等分かり易くアドバイスいただけるおかげで、その場ですぐに悪い癖を直すことができ、根曲り材の伐採方法を少しずつ理解しながら、正確に伐倒することができるようになりました。

また、先行伐採する際などは、先読みが大事なことで、焦らず慎重に安全に行うこと等多くを学ぶことができました。

現場に入る前は、女性ということとで体力や腕力で劣るため不安な気持ちでいっぱいでしたが、先輩方からアドバイスや失敗しても



伐採作業中

フォロワーをいただきながら作業しているうちに不安なこともなくなってきました。この仕事は職場の雰囲気がとても大事で、チームワークなくして仕事は進みません。また、最近は検知作業や木育なども行い、いろんな仕事ができる楽しいです。

## ■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

私は小学生の時、遠足で森の中を歩き上を見上げると樹木が空高くまで育ち、葉の隙間から光が入る!この風景に衝撃を受け、これを引きつかけに森林に強く興味を持ちました。それから高校、林業大と森林について学びました。何十年と育った樹木を伐倒し利用することや、森林を管理する林業、そして、私が幼いころ体験した子供達・地域の方々と森林について触れ遊びあう木育など、森

林・林業の世界を知ることができました。

そして私は、林業で活躍し子供達や地域の人達に森林の素晴らしさを女性の立場から伝えようと考へ林業の世界に飛び込みました。この決断について振り返ると、すごく思い切った決断だと思いう反面、良い決断だったと今は思えます。

## ■未来の担い手へのメッセージ

林業の現場は、力仕事が多いため男性の職場と思いがちですが、女性でもできる作業はたくさんあります。高性能林業機械のオペレーターやプランナーのように企画を行ったり、素材の検知、測量など意外と多いと思います。その中から自分にあつたものを見つけ挑戦してみてください。ぴったりの職場が見つかり、やりがいがありとても楽しいかもしれません。ぜひ、私たちと一緒に林業の世界で一緒に働きましょう!



完成した森林作業道

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、「頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。」

シリーズ  
「林業土木業界からの便り」

株式会社 熊崎組

熊崎 将太  
(二〇一八年入社)



重機を運転する熊崎さん

■事業の概要

請負工事・ミソスリ支線林業

専用道新設工事

発注者：岐阜森林管理署

本工事は、下呂市小坂町 落合 国有林三七・三八林班内において林業専用道五〇〇メートルを新設する工事です。



林業専用道開設の様子

■現場での役割・魅力

本工事でも、自然のままの地形の山を切り開いて、何も無い所から道ができていく所を間近で見られることが一つ目の魅力です。

それ以外にも、本年六月下旬から七月上旬の今までにない大雨により、私の住んでいる地域に大変大きな被害を及ぼしました。土砂崩れや、道路の崩落、河川の護岸

の決壊など地域住民の生活に支障をきたしました。私も夜を徹して災害箇所への復旧や、パトロールを行いました。今までは消防や警察が一番に活動していると思いましたが、実際は、その地域の建設業者でした。

このように地域を支えられるのは地域の建設業者であり、地域の方たちから必要とされるのを実感したのも一つの魅力です。

■林業土木の世界に

入ったきっかけ

私が、建設業の世界に入ったきっかけは、幼少期から建設業が身近な存在だったことが大きな理由の一つです。

また、建設業は、人や地域との関わりが多いことや、地域社会にとつて大変必要な存在であると考えたからです。

建設業の魅力は、一から物を造っていくことだと思っています。

■未来の担い手へのメッセージ

建設業は、以前から3Kなどと言われ良いイメージでない方も多くみえます。また近年は、担い手

不足や若年者の入職が少なく大変な状況が続いていると聞いています。

しかし、若年者が少なく担い手が不足しているということは、チャンスがあるということだと私は考えます。今後十年、二十年経った時に、ほとんどの職業がAIなどによって代替されてしまっているかもしれません。しかし、自然を相手にしている建設業は機械だけでは成り立たないと私は思っている。人しかできないことをしっかりと身につけられ、地域からは頼りにされ、やりがいのある職業だと思っています。



朝の安全ミーティング（一番左が熊崎さん）



### 上旬

① 1日～31日 奥裾花自然園 開園  
おくすくばな (北信署 長野市)

林道大川線の通行止めが十月一日～三十一日の間、解除となり、一時休園していた「奥裾花自然園」が開園します。

② 2日 早月国有林治事業地視察及び森林セラピー体験 (富山署 上市町)  
かみいちまちはまじま

周辺の早月国有林で、森林の保全を目的として、国の治山事業が行われています。治山事業は、下流域住民の暮らしを守るために行われていることを町民の皆様に理解を深めていただくことを目的とし現地視察を行います。視察後には、馬場島周辺での森林セラピー体験も併せて行います。



③ 6日～11月4日 カヤの平高原・秋山郷シャトル便運行

(北信署 飯山市・木島平村・栄村)

ブナの原生林に囲まれた「カヤの平高原」と、長野県の最北端に位置し、先人の知恵と技を受継ぎ、独特の文化が生きる秘境「秋山郷」を結ぶ飯山駅発着の周遊シャトルバスが、期間限定で運行します。

④ 7日 赤沢森林浴大会 (秋の部)  
木曽署 上松町



赤沢自然休養林に集合し、ガイドさんと森林浴を楽しめます。コースは学術研究コースとふれあいコース、リラククスコースの三つ。脚力に合わせてお選びいただけます。

(要予約、上松町観光協会へ)  
⑤ 7日～8日 第八回木育フェスティバル・イン信州しおじり (中信署 塩尻市)

「木に学び、木とふれあい、木と共に生きる」をコンセプトに、第八回木育フェスティバルイン信州しおじりが塩尻市民交流センター及びウイングロードで開催されます。

⑥ 8日 上高地の明神池お船祭り

(中信署 松本市)

徳高神社奥宮例大祭が執り行われ、す。「明神池お船祭り」とも呼ばれるこの祭りは、一年の山への感謝と安全無事の祈願をこめて昭和二十六年から六十年間続けられている行事です。

⑦ 10月上旬 乗鞍高原の紅葉  
中信署 松本市

乗鞍高原には紅葉スポットがいくつもありますが、最も有名なのは三本滝・善五郎の滝・番所大滝の三天滝です。中でも三本滝は、三つの滝が一ヶ所に集まっています。「日本の滝百選」にも選ばれています。乗鞍山頂へと続く乗鞍エコーライン(マイカー規制)は壮大な紅葉の眺めを楽しむのに最適です。

⑧ 10月上旬 美ヶ原高原の紅葉  
中信署 松本市

レンゲツツジやカラマツなどが赤や黄色に色づき、高原全体が秋一色となります。王ヶ頭や王ヶ鼻から北アルプスや市街地までの紅葉する山々が一望できます。

### 中旬

⑨ 13日 森林計画に関する地域住民との懇談会 (飛騨署 高山市)

地域の皆さんに、国有林で行



われている活動を見学いただき、ご意見・感想をいただく懇談会です。  
(参加費無料・要予約)

⑩ 13日、14日、20日、21日 米子大瀑布シャトル便運行 (北信署 須坂市)  
日本の滝百選に選ばれている「米子大瀑布」と日帰り温泉施設「湯つ蔵んど」の間を運行します。

⑪ 14日 飛騨小坂おんたけパノラマウォーキング&ジヨギング  
岐阜署 下呂市

標高一千七百メートルで、高地トレッキング(御岳自然休養林内)を体感しませんか。高地での運動は、酸素を取り込む能力が向上し持久力を高めるほか、肥満・糖尿病などの生活習慣病の改善にも有効であると考えられており、アスリートだけでなく、一般の方の健康づくりにも最適です!

⑫ 17日 県民共学講座(森林生態学)  
木曽署 木曽町

生態系の中で、物質はどのように循環しているのでしょうか。森林生態系の特徴と、私たちと生態系の関わりについて学びます。(申し込みは2日前までに長野県林業大学校へ)

⑬ 鎌池の紅葉 (中信署 小谷村)

周りを一周二日の遊歩道に囲まれ、新緑の頃や、紅葉の時期には多くの人が訪れます。池の主は大きな鯉とか。例年十月中旬頃には紅葉の見頃を向かえ、鎌池に映り込む紅葉を写真に収めるため多

### 下旬

くのカメラマンが訪れます。

⑭20～21日 シートウーサミット千曲  
川・高社山大会

(北信署 中野市・飯山市・木島平村)  
日本最長の川、千曲側の雄大な流れを  
カヌーで下り、自転車こうしゃで高社山こうしゃの麓へ、  
その後、北信州のシンボル「高社山」の  
山頂を目指す環境スポーツイベントが開  
催されます。

⑮21日 採って・食べてきのこフェス  
(木曽署 木曽町)  
原木きのこに関する講義、原木きのこ  
の収穫体験やきのこ調理体験。

開催場所・ふるさと体験館きそふくし  
ま(十六名程度、長野県林業大学校へ申  
し込みが必要)

⑯21日 大鹿歌舞伎秋の定期公演  
国の重要無形民俗文化財に指定された  
地芝居が上演されます。  
会場…大鹿村鹿塩おむしかむらかじ 市場神社



⑰25日～11月20日 岐阜公園菊人形・菊  
花展 (岐阜署 岐阜市)



金華山きんかざん国有林麓の岐阜公園で「菊人  
形・菊花展」が開催されます。菊作りの  
名人たちが育てた大菊、小菊、美濃菊を  
はじめ、小菊を流木などに這わして作る  
「木付け」などの菊花が展示されます。  
菊花で装飾された華やかな菊庭園には、  
岐阜県内唯一となる菊人形が登場し、無  
料で鑑賞できます。

⑱27日 森林計画に関する地域住民との  
懇談会 (北信署 信濃町)  
地域の皆さんに、国有林で行われてい  
る活動を見学いただき、ご意見・感想を  
いただく懇談会です。(参加費無料・要  
予約)

中部森林管理局ホームページに掲載  
⑲28日 めいほう高原秋祭り  
(岐阜署 郡上市)

紅葉に染まる「めいほう高原」で秋ま  
つりが開催されます。「名物千人鍋」の  
無料提供をはじめ、特産品の出店やス  
テージショーのほか、豪華賞品が当たる  
餅巻きなどが行われます。

⑳10月下旬 飛騨美濃せせらぎ街道の紅  
葉 (岐阜署 高山市・郡上市)

岐阜県中部を南北に縦断する国道  
四七二号線は「飛騨美濃せせらぎ街道」  
の愛称で親しまれ、例年十月下旬から全  
長七二キロメートルにおよぶ沿道の各所で紅葉が  
楽しめます。標高の最も高い西ウレ峠か  
ら順に紅葉が始まり、十一月上旬になる  
と赤や黄色に美しく染まる山肌が高山  
明宝、郡上八幡へと広がります。



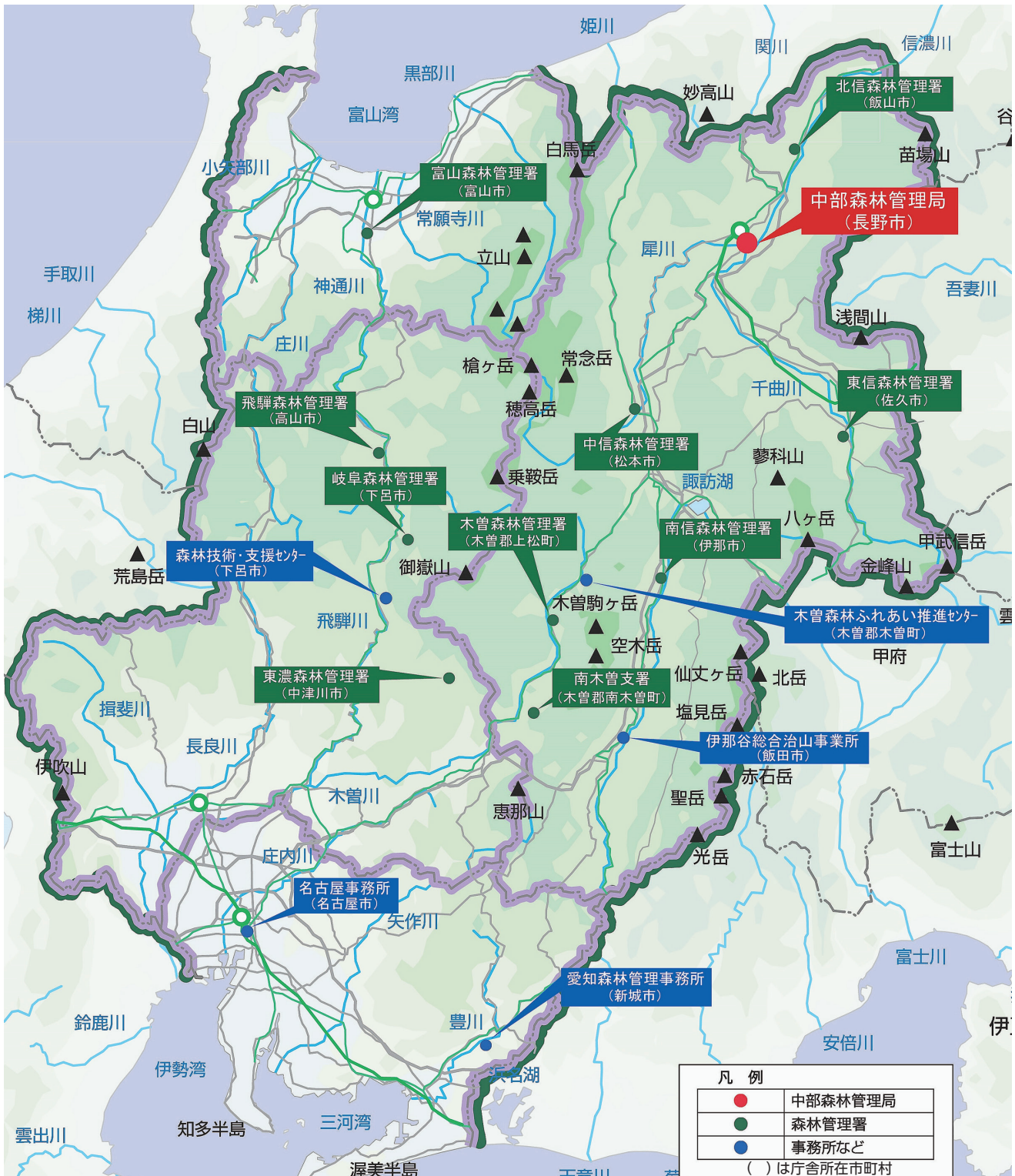
㉑10月下旬 紅葉の金山湖(岩屋ダム)  
(岐阜署 下呂市)

「東仙峡金山湖」と呼ばれる岩屋ダム  
は、日本でも有数の美しさを誇るロック  
フィル式ダムで、澄み切ったスカイブ  
ルーの湖水と、水面に映る赤や黄色の広  
葉樹が鮮やかなコントラストを醸し出  
します。

## 編集長だより あなたの写真を！お待ちしております

- ☆急に涼しくなってきました。山では、秋真只中の時期です。紅葉の森林を背景に様々なイベントも予定されています。
- ☆きれいな紅葉を見に、国有林へ出掛けてみませんか。ステキな写真が撮れましたらmigor@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)
- ☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。あなたの写真が来月号の表紙を飾るかもしれません。ご投稿をお待ちしております。

- ご投稿には、氏名又はニックネーム、整理番号(10月なら①～②のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えて頂いても構いません。
- ☆前回から始めた森林でのお仕事紹介コーナーはいかがでしょう。学生さんの進路検討の参考になると嬉しいです。出前での就職説明会もできますので、お気軽に最終ページのお問合せ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
※南木曽支署	〒399-5302	長野県木曽郡南木曽町吾妻3859-39	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149

※南木曽支署は平成31年1月（予定）まで庁舎工事のため上記に移転中です。